

市町村名	北中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	中城間切ノロ関係資料集作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
担当部課名	生涯学習課	事業実施年度	平成24 ~ 平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	北中城村独自の歴史を広く発信するため、「中城間切ノロ資料集(仮)普及版(ビジュアル版)」として発刊する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H26年度		H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	5,110	2,473	6,650	4,758	18,991	
	B. 執行済額	4,860	2,378	6,461	4,733	18,432	
	うち 交付金充当額	3,887	1,902	5,169	3,786	14,744	
	執行率(%) (B/A)	95.1%	96.2%	97.2%	99.5%	97.1%	
執行状況の説明		・最終的な執行率は97.1%となり、概ね計画的に事業を執行することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	ノロ家関係者への聞き取り及び現地調査	目標	ノロ関連現地調査3箇所	ノロ家関係者への聞き取り及び現地調査	-	-	-
		実績	ノロ関連現地調査11箇所(件)	ノロ家関係者への聞き取り及び現地調査	-	-	-
	専門部会の開催	目標	-	-	合同検討会の開催3回	監修委員会の開催3回	2回
		実績	-	-	合同検討会の開催1回	監修委員会の開催4回	1回
	・解説原稿(烏袋ノロ文書解説) ・原稿執筆(論述部分)	目標	-	-	解説原稿50点 仮原稿6項目	-	-
		実績	-	-	解説原稿70点 仮原稿6項目	-	-
・監修を終了原稿の校正・編集	目標	-	-	-	200ページ	200ページ	
	実績	-	-	-	500ページ	368ページ	
・普及版(ビジュアル版)原稿執筆及び編集完了	目標	-	-	-	-	執筆・編集の完了	
	実績	-	-	-	-	執筆・編集の完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	・ノロ家系関係者への聞き取り調査→10件 ・ノロに関連する祭祀場等の現地調査→3件	目標	ノロ関連現地調査3箇所	聞き取り調査10件 現地調査3件	-	-	-
		実績	ノロ関連現地調査11箇所(件)	聞き取り調査15件 現地調査5件	-	-	-
・「中城間切ノロ資料集(仮)普及版(ビジュアル版)」の発刊	目標	-	-	解説原稿50点(進捗率50%)、仮原稿6項目(進捗率30%)、執筆方針・内容の決定	本巻の発刊	普及版の発刊	
	実績	-	-	解説原稿70点(進捗率100%)、仮原稿6項目(進捗率30%)、執筆方針・内容の決定済	本巻の発刊	普及版の発刊	

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	-	-	-	30年度 目標/発現年度
	普及版利用者に対しアンケート調査を実施し、村の歴史への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	80.0%	-	-	-
実績		75.0%	-	-	-	75.0%
状況説明	目標					
	実績					
<p>【H30年度】 ・本村独自の歴史を発信するため、中城間切のノロに関する資料集を普及版として発刊し、利用者に対してアンケートを実施した結果、「北中城村の歴史・文化への理解度が深まった。」と回答した利用者は75%となり、目標を若干下回っている。</p>						
<p><b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)</p>				<p><b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)</p>		
<p>【H30年度】 ・普及版利用者に対するアンケートについて、「村の歴史への理解が深まったか。」の回答結果が目標値を下回ったものの、理解が深まったと回答した利用者が多数いたため、本事業は一定の成果があったと思慮する。</p>				<p>【H30年度】 ・村内の機関等(自治会、小中学校)や県内の図書館等へ配布し、多くの方が閲覧できるよう取り組んだ。引き続き、多くの方に対する周知を図る必要がある。</p>		
<p><b>今後の取り組み方針</b>(関連・同種事業へのフィードバック等)</p>						
<p>【H30年度】 ・これまで本事業で収集、蓄積した資料を活用した展示会等を開催することで多くの方に北中城村の歴史・文化を発信する。</p>						

市町村名	北中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	歴史文化散策路ネットワーク整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり	
担当部課名	建設課	事業実施 年度	平成 24	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 III-1-(1)	
事業内容	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策路整備を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	55,355	28,220	20,603	52,168	156,346	
	B. 執行済額	47,629	28,220	19,119	49,559	144,527	
	うち 交付金充当額	38,102	22,576	15,295	39,647	115,620	
	執行率(%) (B/A)	86.0%	100.0%	92.8%	95.0%	92.4%	
執行状況の説明	・H28年度は工事隣接地権者との施工交渉が難航したことや、関係機関との調整に時間を要したため工事が遅れ、繰り越すこととなった。 ・H29年度は擁壁の床掘時に想定とは違う場所から埋設管が発見されたことで、工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は92.4%となり、概ね計画どおり事業執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了	目標	喜舎場・仲順地区の実施設計の完了	-	-	-	-
		実績	喜舎場・仲順地区の実施設計の完了	-	-	-	-
	「島袋・比嘉」地区の基本計画の策定	目標	島袋・比嘉地区の基本計画の策定	-	-	-	-
		実績	策定未完了	-	-	-	-
	散策路案内カラー舗装・散策路整備	目標	-	散策路案内カラー舗装 L=1,300m、572㎡	散策路案内カラー舗装 L=1,300m、572㎡	1路線 幅1.5m、延長75m 112㎡	1路線 幅1.5m、延長148m 220㎡
		実績	-	散策路案内カラー舗装 L=249.5m、74.9㎡	散策路案内カラー舗装 L=249.5m、74.9㎡	1路線 幅1.5m、延長75m 112㎡	1路線 幅1.5m、延長148m 220㎡
	里道整備の実施	目標	-	里道整備の実施 L=128m、188㎡	里道整備の実施 L=128m、188㎡	-	-
		実績	-	里道整備の実施 L=128m、192㎡	里道整備の実施 L=128m、192㎡	-	-
多言語散策路マップの作成及び配布	目標	-	-	-	-	作成及び配布	
	実績	-	-	-	-	作成及び配布	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了 「島袋・比嘉」地区の基本計画の策定	目標	「喜舎場・仲順」の実施設計の完了				
		実績	「喜舎場・仲順」の実施設計の完了				
	・散策路の整備完了	目標	「喜舎場・仲順」の第1期整備工事の完了	喜舎場地区散策路の整備完了	喜舎場地区散策路の整備完了	全工事の3/4を完了	整備完了
実績		「喜舎場・仲順」の第1期整備工事の完了	喜舎場地区散策路の整備完了	喜舎場地区散策路の整備完了	全工事の3/4を完了	整備完了	

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			H30年度				H30年度 目標/発現年度
	本事業により、整備を行った散策路について、観光客等の利用者へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。		目標	80.0%				
			実績	76.0%				
			目標					
		実績						
状況説明		【H30年度】 ・アンケート結果は、76%となり目標を若干下回っている。						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・本地区の多くのルートは地域の集落内にあり、場所が把握しにくいいため、観光客が目に触れる機会が少なく、認知度が低いことが課題であるとする。				【H30年度】 ・多言語散策路マップのデータを活用し、本村を訪れる観光客に対してさらなる散策路の周知を図る必要がある。				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【H30年度】 ・作成した多言語散策路マップのデータを活用し、村ホームページへの掲載による周知を図る。また、今年度予定している観光周遊バスに散策路マップを配置し、周知強化を図る。								